

2019年5月15日
九州電力株式会社
西部ガス株式会社
中国電力株式会社
日本郵船株式会社

瀬戸内・九州地区で初のLNGバンカリングを実施 －LNGバンカリング事業化に向けて検討を加速－

九州電力株式会社（本社：福岡市中央区、代表取締役社長：池辺和弘）、西部ガス株式会社（本社：福岡市博多区、代表取締役社長：道永幸典）、中国電力株式会社（本社：広島市中区、代表取締役社長：清水希茂）および日本郵船株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：内藤忠顕）（以下「4社」）は、本日、北九州港において船舶向けLNG燃料供給（以下「LNGバンカリング」）の実証実験を実施しました。瀬戸内・九州地区におけるLNGバンカリングは、本件が初めてとなります。

LNG燃料は、ひびきLNG基地（福岡県北九州市若松区）からタンクローリーで出荷し、浅野地区岸壁（北九州市小倉北区）に着岸中のLNG燃料タグボート“魁（さきがけ）”^{※1}に対し、Truck to Ship方式^{※2}で供給しました。

4社は、昨年8月よりLNGバンカリングの事業化に向けて具体的な検討を開始してまいりました。今回の実証実験により、LNGバンカリングの実現可能性を確認出来たので、本実証実験で得られた知見を踏まえ、同地区におけるLNGバンカリングの早期事業化を目指してまいります。



バンカリングの様子①



バンカリングの様子②



魁船長とローリースタッフ



4社代表者

左から九州電力 企画・需給本部 副本部長 常富浩之、西部ガス 技術企画部長 五藤浩二
中国電力 電源事業本部（燃料）担当部長 渡邊睦浩、日本郵船 経営委員 鹿島伸浩

【実施場所図】



- ※1 日本初のLNG燃料船（2015年8月竣工、船主・日本郵船株式会社、運航・株式会社ウィングマリタイムサービス）。今回の実証実験のため、一時的に横浜・川崎港から北九州港に回航した。
- ※2 船舶へのLNG供給手法の一つ。係留中のLNG燃料船に対して、岸壁に駐車したLNGタンクローリーからLNGを供給する方式。



（出典：国土交通省「横浜港LNGバンカリング拠点整備方策検討会とりまとめ（2016年12月）」）

<ご参考1>

瀬戸内・九州地区におけるLNGバンカリングの展望については添付PDFご参照

<ご参考2>

2018年8月2日発表プレスリリース

「瀬戸内・九州地区における船舶向けLNG燃料供給事業の共同検討の覚書を締結しました」

https://www.nyk.com/news/2018/20180802_02.html

以上